

**解答例** One day, a girl was at home with her parents. She was showing them an advertisement for a smartphone for kids. The advertisement said that a smartphone would make it easier for parents to stay in touch with their children. The next weekend, the girl's parents were at a cell-phone shop. Both of them looked interested in the smartphone that the clerk was telling them about. The girl's father was thinking about how happy his daughter would be when he gave her the phone. The following week, the girl was outside of a dance studio. It was nighttime, so she used her smartphone to call her father to pick her up. Her father was happy to do so. At a parent-teacher meeting, however, the girl's mother and father were listening to a teacher who was making an announcement. The teacher told them that some students had been playing with smartphones in class.

**解答例の訳** ある日、1人の女の子が両親と自宅にいました。彼女は両親に子供用スマートフォンの広告を見せていました。その広告には、スマートフォンを使えば両親にとって子供と連絡を取ることが容易になると書いてありました。次の週末、女の子の両親は携帯電話の店にいました。両親共に店員が説明しているスマートフォンに興味を持っているように見えました。父親は、スマートフォンを娘に与えたらどれほど喜ぶだろうかと考えていました。翌週、女の子はダンススタジオの外にいました。夜間だったので、彼女はスマートフォンを使って父親に迎えに来てくれるように電話をかけました。父親は喜んで迎えに行きました。しかし、学校の保護者会で、女の子の両親は告知をしている先生の話聞いていました。先生は両親に、生徒の中には授業中にスマートフォンをいじっている者がいると言いました。

**解説** ナレーションで注意すべき点は、ストーリーが論理的に展開できているかということである。この問題では、①女の子が子供用のスマートフォン（スマホ）を欲しがった、②両親も承諾し店にスマホを購入しに行った、③女の子がスマホを使って父親に車で迎えに来てもらった、④学校の保護者会で、授業中にスマホで遊ぶ生徒の話聞いた、という展開になっている。1コマ目の広告にある「子供といつでも連絡が取れる」という文言、2コマ目の両親の好意的な表情、3コマ目の「購入してよかった」と思わせる父親の表情などにも触れながら、ストーリーを完成させるようにしよう。

**解答例** One day, a girl was with her brother watching a news story about their local train line. They were surprised to hear that the line was facing closure due to the decreasing number of passengers. Both the girl and her brother looked concerned to hear the news. The next weekend, the girl was at the train station holding a sign protesting the line's closure. The girl's brother was collecting signatures from people passing by. Three months later, a sign had gone up outside the train station. The girl and her brother were excited to see that the train line would stay open. However, the sign also said there would be a fare increase. The following week, the girl noticed an elderly couple buying tickets at the station. The man looked worried as he told his wife that he didn't think they could afford to take the train every day.

**解答例の訳** ある日、1人の女の子が兄と一緒に地元の鉄道に関するニュースを見ていました。彼らは、乗客数の減少により路線が閉鎖の危機に直面していると聞いて驚きました。2人ともそのニュースを聞いて心配しているように見えました。次の週末、その女の子は路線閉鎖に反対する看板を持って駅にいました。女の子の兄は、通りすがりの人々から署名を集めていました。3カ月後、駅の外に看板が立てられました。女の子と兄は、路線が開業を続けるという看板を見て興奮しました。しかし、その看板にはまた、運賃を値上げするとも書いてありました。翌週、女の子は年配の夫婦が駅で切符を買っているのに気付きました。男性は、毎日電車を利用する余裕はないと思うと妻に話したとき、心配しているように見えました。

**解説** ナレーションでは論理的な展開が求められるが、この問題では4コマ目で女の子が路線継続に伴う喜びとは別の側面を知る過程がポイントになるだろう。解答の際に押さえるべき点は、①兄妹が地元の鉄道路線の閉鎖危機のニュースを見た、②駅で路線継続を訴える活動をした、③路線閉鎖はなくなったが、同時に運賃が値上げになった、④老夫婦には毎日利用する余裕がなくなってしまった、という4点である。なお、3コマ目の運賃値上げに関する記載は、ストーリー展開として絶対に欠かせない情報である。

**解答例** One day, a woman was in the hotel office. She was reviewing the hotel's costs, and she was concerned to see that they had been rising for the past few years. At a staff meeting, the woman was talking with some of her employees about cost-cutting ideas. One of the ideas was to reduce part-time staff, and the other was to lower the hotel's advertising budget. They agreed that reducing part-time staff was the better of the two ideas. A few months later, the hotel lobby was crowded with guests, and the front-desk clerk seemed to be struggling to deal with them. The woman was cleaning a table in the hotel café when a guest sitting nearby said that he was ready to order. The next day, the woman was standing near the front desk when she overheard one of the guests tell the clerk that the hotel's services had gotten worse.

**解答例の訳** ある日、1人の女性がホテルの事務所にいました。彼女はホテルの経費を見直しており、過去数年間で経費が上昇していることが分かって心配になりました。社員会議で、女性は従業員の何人かと経費削減の案について話し合っていました。案の1つは、非常勤職員を減らすことで、もう1つの案は、ホテルの広告予算を下げることでした。2つの案のうち、非常勤職員を減らす方がよいということで彼らは合意しました。数カ月後、ホテルのロビーは宿泊客で混み合っており、フロント係は彼らに対応するのに苦戦している様子でした。女性がホテルのカフェでテーブルを拭いていたとき、近くに座っていた宿泊客が注文の準備ができていると言いました。その翌日、女性はフロントの近くに立っており、宿泊客の1人がホテルのサービスが悪くなったとフロント係に話しているところを立ち聞きしました。

**解説** ナレーションに含めるべき点は、①ホテルの女性オーナーが過去数年間で経費が上昇していることに気付いた、②会議で経費削減案を話し合い、非常勤職員を減らすことに合意した、③数カ月後、宿泊客への対応が仕切れなくなった、④宿泊客の1人がフロント係に「サービスが悪くなった」と告げた、の4つ。2コマ目では、「非常勤職員を減らすこと」と「ホテルの広告予算を下げること」の2つの案があり、前者に合意したことがポイント。解答例の〈the + 比較級 + of the two ~〉のような比較表現を知っておくと有利だ。ホテルの従業員は staff や employee(s)、(宿泊)客は guest(s) や customer(s) で表すとよい。

**解答例** One day, an elderly couple was coming home from the supermarket. They were pushing their bicycles, both of which were loaded with groceries. The man looked like he was struggling with the heavy load, and his wife remarked that the supermarket was too far away. The next day, the woman was in front of the couple's home. She looked pleased to find an advertisement for a supermarket that offered a delivery service. The ad said that groceries could be ordered online. A week later, the woman was ordering some vegetables from the supermarket's website. Her husband seemed to be looking forward to the delivery of the vegetables. A few days later, the woman was starting to prepare dinner. The vegetables had arrived, and the man was taking them out of the box. He looked disappointed as he told his wife that the vegetables were not fresh.

**解答例の訳** ある日、年配の夫婦がスーパーから家に帰っていました。彼らは、どちらも食料雑貨品がいっぱいに積まれている自転車を押していました。男性は重い荷物に苦戦しているように見え、彼の妻はスーパーが遠過ぎると言いました。その翌日、女性は夫婦の自宅の前にいました。彼女は配達サービスを提供しているスーパーの広告を見つけてうれしそうでした。その広告には、食料雑貨品はインターネットで注文できると書いてありました。1週間後、女性はそのスーパーのウェブサイトから野菜をいくつか注文していました。夫は野菜の配達を楽しみにしている様子でした。数日後、女性は夕食の準備を始めていました。野菜が届き、男性は箱からそれらを取り出していました。彼は野菜が新鮮ではないことを妻に伝え、落胆した様子でした。

**解説** ナレーションに含めるべき点は、①年配の夫婦がスーパーで買った物を乗せた自転車を押していた、②翌日、女性が配達サービスを提供しているスーパーの広告を見つけた、③1週間後、女性がインターネットで野菜を注文していた、④数日後、女性は夕食の準備を始めるところで、男性が届いた野菜が新鮮ではないことに落胆した、の4つ。スーパーが遠くて苦労していた夫婦がインターネットで注文できる方法を知ったが野菜が新鮮ではなかった、という展開。解答例ではスーパーで買った物を groceries「食料雑貨品」（この意味では複数形）で表している。人物の様子を表す look (like) や seem to は使えるようにしておきたい。